

しあわせを
共に産み出す党
日本共産党

みんなの民報

2016年3月13日

第1769号

発行 日本共産党皆野町委員会

Tel 62-6733

9条こわすな！

36オール埼玉総行動に参加した。予想に反して晴れた大宮に目標を越える一万一〇〇人も参加で集会とパレードが行われました。

「安保関連法廃止！立憲主義を取り戻す」の呼びかけのもと、県内各地からの参加者で公園もデッキも熱気にあふれていました。

国会レベルでの野党共闘に呼応して労働分野も連合埼玉と埼玉連、野党五党の画期的な同席、あいさつや様々の立場の方のリレートークがありました。

“誰のいふも殺させない”のママの会の方からは「与党はドレッシング＝酢と油で分離する、野党は卵黄の市民で「クオネーブ」だ」とのお話や、高校生からは「義をみてせざるは勇なき



戦争させない！

なり、「大学入の会の方は「アベの存在そのものが将来不安」と語られました。

ゲストスピーチはアクティビストのミサオ・レッドワulfさんと大野晃一さん。

お二人とも昨年からの市民の活動から生まれた「野党は共闘」の願いが遅まきながら実現しつつあること、時間がかかったけれどここから反攻



勢、参院一人区はもとより野党の議席を増やしてアベのたくらみを打ち破ろうと話されました。共闘は難しい事だが、互いをリス・ヘクトし、違いを認めあって柔軟な姿勢でと、

大勢の参加者に励まされパレードで市民にアピールしました。

立憲主義とは

安倍首相は、3月2日の国会で明文改憲を「在任中に成し遂げたい」と表明しました。

解釈改憲による戦争法（安保法制）の強行に続き、条文そのものを変える明文改憲をねらっているのです。戦争法の強行に対して、憲法で権力者をしばる立憲主義の破壊だとの厳しい批判に対して「改憲」で挑戦しようとするものです。

安倍首相の発言は、集団的自衛権行使、米国の引き起こす戦争に参加するところへの異様な執念を改めて示したものにほかなりません。

憲法を無視する権力者に、改憲を論ずる資格などありません。

＝立憲主義＝

憲法を制定し、それに従って統治するという政治の在り方。

（広辞苑より）

— 日本国憲法第99条 —

天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負う。

高校生に戦争法廃止

署名を訴える！

安保関連法廃止！立憲主義を取り戻す36オール埼玉総行動では高校生の代表が挨拶しました。東京渋谷などでは高校生が集会を開き、パレードをしたニュースが新聞で報道されます。2000万統一署名には高校生に書いてもらわなければ到底達成できません。

皆野町でも約人口1万2000人中で1700筆の目標に対して高校生にも書いてもらわなくては達成できません。3月7日、学校側に挨拶し、皆野高校前の町道で生徒に署名を訴えました。

署名に応じ「ガンバッテ下さい」と励まされました。



